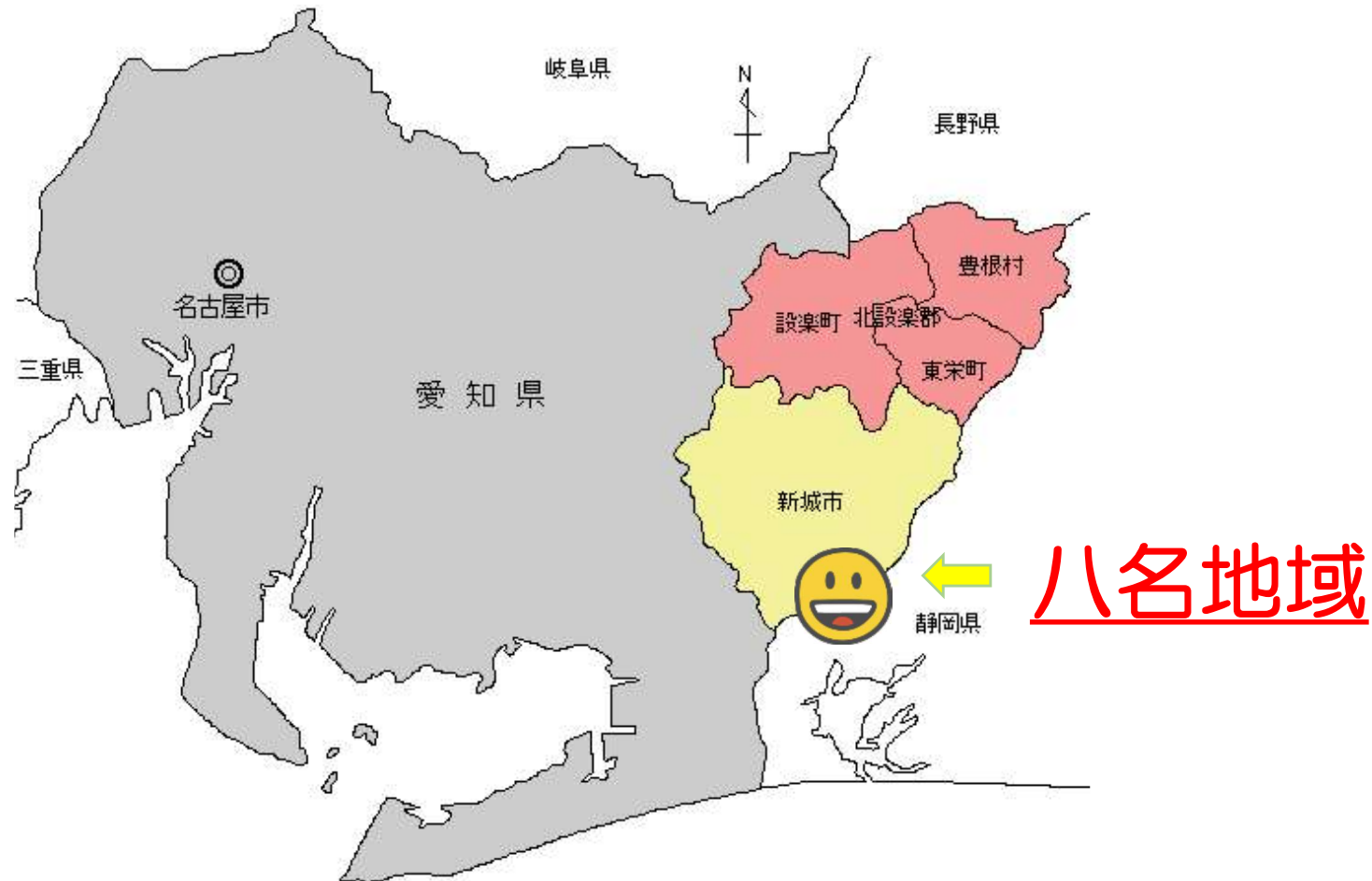


「女性の思いが 地域を変える」

～「やなマルシェ」による地域活性化の取組み～

JA愛知東 女性部 部長 加藤久美子

JA愛知東はどこにある？ やなマルシェはどこにある？



JA愛知東は、愛知県の北東部に位置し4つの市町村を管内にもち、
「やなマルシェ」がある八名地域は… 新城市の南部に位置しています

なぜ、発起人の5人の女性は
「やなマルシェを始めたのか？」

JA愛知東 女性部員だから？

⇒ それもあります

コープあいち 組合員だから？

⇒ それもあります

八名地域協議会 委員だから？

⇒ それもあります

やなマルシェは

八名地域住民である
私達が「今一番必要」
だと思ったから

奮闘しました！

発起人5人



JA女性部	JA女性部	JA女性部		
生協組合員	生協組合員	生協組合員	生協組合員	生協組合員
		生協 地域委員会	生協 地域委員会	生協 地域委員会
八名地域 協議会委員	八名地域 協議会委員	八名地域 協議会委員	八名地域 協議会委員	八名地域 協議会委員
ママ友	ママ友	ママ友	ママ友	ママ友
		自治基本条 例検討委員	自治基本条 例検討委員	

やなマルシェの発起人5名は、



20年以上前から生協組合員

毎月一度
新城配送セン
ター会議室で
話し合いを
行っています

ご近所さんと
共同購入



おしゃべり会



生協 新城
地域委員会



地域の困りごとや情勢を話す
問題を相談
計画・企画・運営・実行
自分たちで解決する方法を学ぶ

生協組合員として活動、同時にJA組合員でもあります

JA愛知東とコープあいち （協同組合として） 総合提携を基盤に、生活支援での連携へ

- 1999年に旧JAやまびこと旧みかわ市民生協が総合提携を結ぶ
- 合併で2002年にJA愛知東、2010年にコープあいちが誕生、総合提携は引き継がれる（毎年「山と水と緑の協同組合まつり」開催）
- 2011年にJA愛知東が生活支援のアンケート結果に基づき、2012年に生活支援基本構想を策定、同じ地域を拠点としているコープあいちと一緒に取り組むことで、課題解決につながるのではないかと考えた
- 両者の協議を踏まえ、JAの人間ドック受診を生協組合員へ呼びかけが実現

居場所づくりの連携から「やなマルシェ」へ

高齢者の居場所づくりとして何かできないだろうか、
JA女性部員と生協地域委員を中心に検討、高齢者向
け健康サロン「まずは寄らまいかん」を開催

(2015年11月)



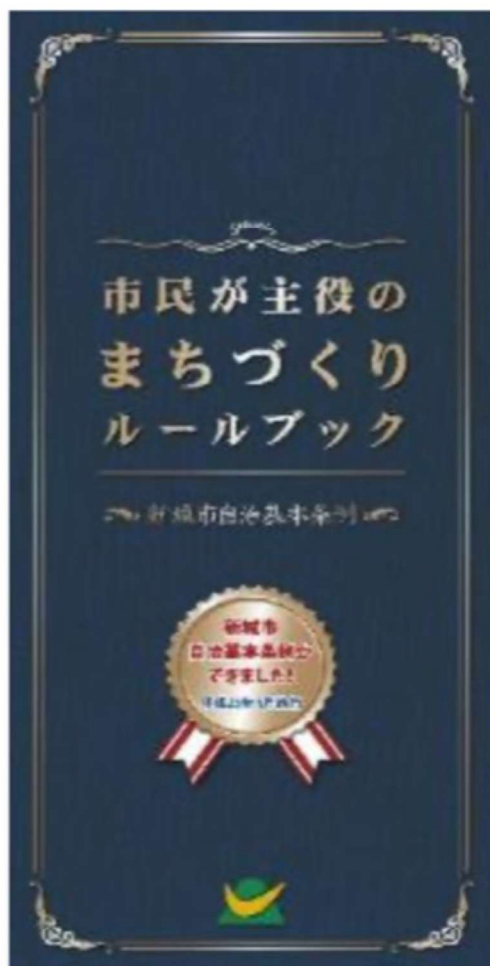
このとき、JAと生協、組合員同士の垣根がなくなった
こうした連携が「やなマルシェ」に繋がっていく

2013年

新城市自治基本条例

施行

「市民が主役のまちづくりを推進し、元気に住み続けられ、世代のリレーができるまちを協働してつくることを目的とする。」



私たちは、2010年より条例検討会議の市民委員となる。

- 条例づくりを学ぶ
- 家庭だけでなく市全体を考える
- 作った条例は使うことに意義があることを知る

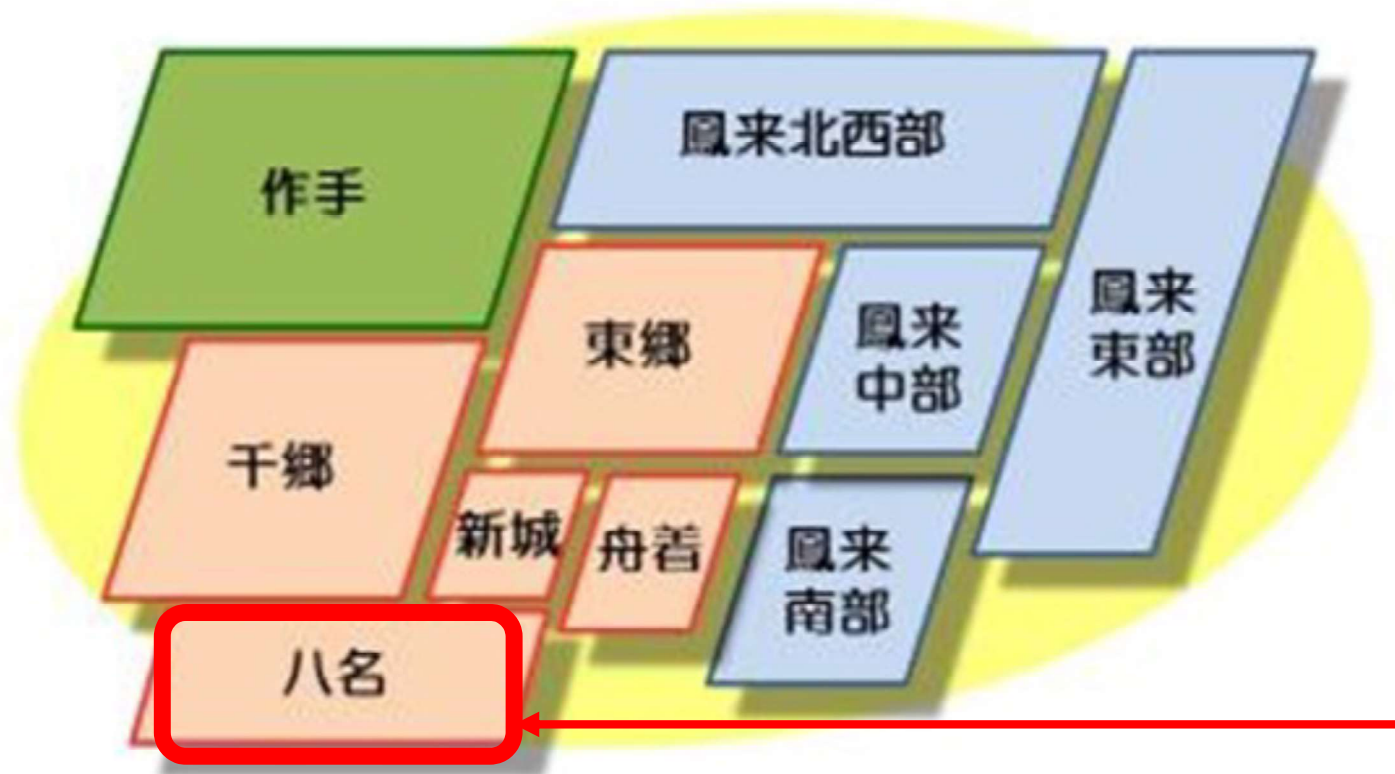
⇒行政のしくみを知ることができた

※自治基本条例に合わせ地域自治区・地域協議会も設置される

自治基本条例とともに

地域自治区条例 施行

住民自治の充実を図るため、新城市を10の自治区に分けた地域協議会が2014年にスタート。私たちは八名地域協議会に委員として参加



条例づくりに関わって地域のことを考えるようになった



八名地域協議会の集まりで感じること

- 高齢者が年間約80人が亡くなっている
- この10年で100人の子どもが減少
- 店がなくなり買い物困難となる
- 公共交通機関が利用しづらく移動困難
- 後継者がなく耕作放棄地が増加する … など

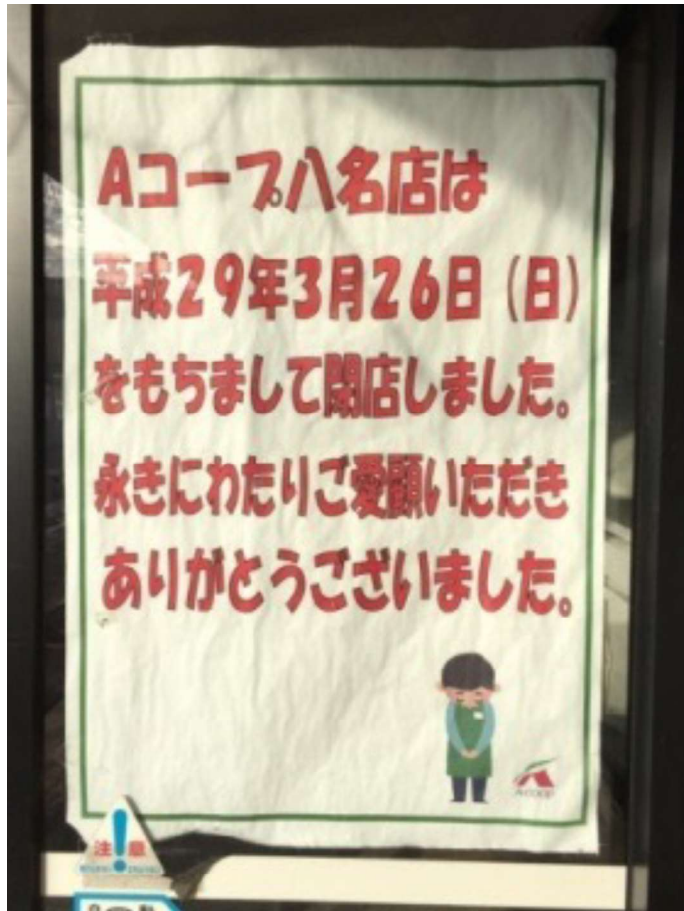


- 市街化調整区域、働く場がなく、若い子が外へ出て行って戻ってこない
- 少子高齢化で活気がない

⇒ この地域に危機感を抱く

生協の地域委員会でも情報共有

そんな時…



Aコープ八名店 閉店

生協組合員でもありJA女性部員でもあり
八名地域協議会委員でもある
5名で立ち上がる！



私達にできること「朝市」を立ち上げようと
JA事務局に相談

朝市スタート

JA女性部活動として
地域のためになるなら
とJAも快諾！

- 地域の協力で販う
- 回数を重ねるにしたがって肉、魚、卵など地域からの要望

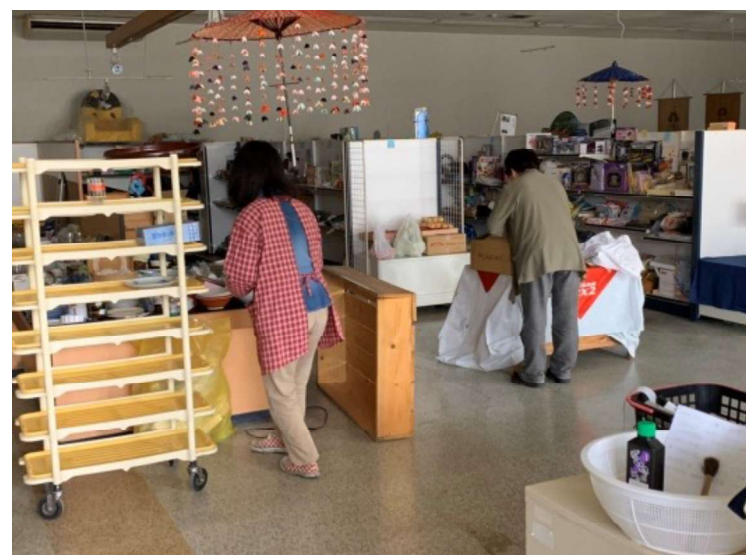
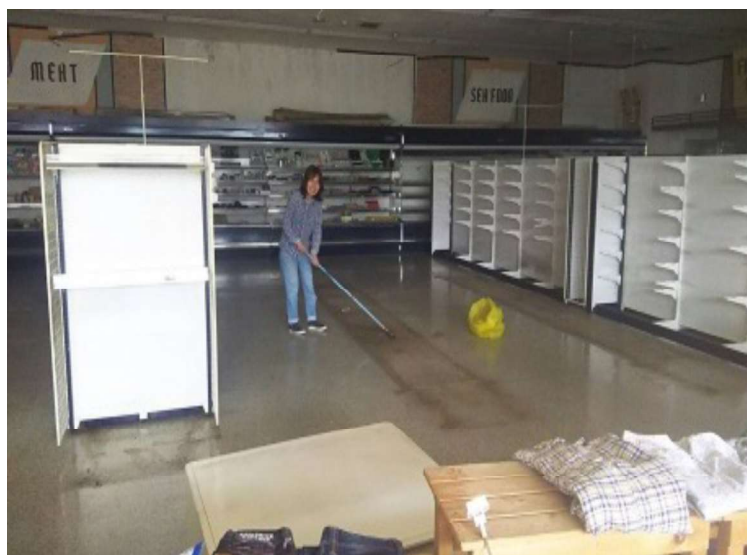
チラシにて地域へ
お知らせ



コープあいち（商品宅配）
ヨシケイ（ミールキット配達）
クイックパック（ミールキット配達）
セブンイレブン（コンビニ商品移動販売）
もっくる（弁当移動販売）
J笑門（JA移動購買）
パントーネ（パン移動販売）

朝市を始めて1年を迎える頃…

活動を広げるため「軒下だけでなく店内も使えないか」
とJA事務局に相談
→店内の1 / 2が借りられるようになる（2018年4月～）



小さな活動が少しずつ
大きくなっていく実感

大きな夢と小さな目標

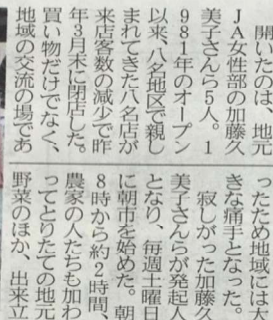
夢は大きい方がワクワクします。でも目標は手の届くところでゆっくりと出来ることをやって達成感を味わうと嬉しく楽しいですね！
私たちはそんな想いで地域貢献活動をしています。

大きな夢

八名でいつまでも元気で楽しく暮らしたい

小さな目標

毎週、地域の笑顔が増えていく



しんしろ結いの市も同時開催

い時もあつたが、や

「後もせてやるかい」と話した。

閉店した新城市黒田の愛知東農協Ａコープ八名店を利用した朝市「八名マルシエ」が好評だ。食料品を積み込んだ移動販売車も助つ人役となつて加わる。１周年を迎えた７日、店舗とその周辺で感謝祭を開いた。

（夏目聡）

(夏目聡)

苦しい時乗り越え充実の品ぞろえ

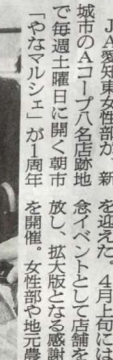
1周年感謝祭 大盛況

新城・人気の朝市「八名マルシェ」

めようと思ったことはなかった。大勢の

めようと思つたことはなかつた。大勢人が来てくれてもいい。これからもう内いっぱいに商品品賣並ぶよう、がんばつていきたい」と語つた。結いの市との時間開催については「若い世代のお客さんが来てくれ、お年寄りの世代とのよい交流の機会になった。今後もぜひやりた」と話した。

やなマルシエ
1周年



手作りパンや新鮮野菜を手に笑顔の買い物客ら

ら進んで多くの組合が、新鮮野菜の流通、鍋や食器といった生活雑貨などを店内で販売し、地域住民らが詰めかけた。

昨年3月に、1989年のオープン以来、住民に親しまれてきたAコープ八名店が閉店。付近に店が少ないうえに、八名地区の女性部有志が地元農家に出店を呼び掛け、4月から山菜や漬物などを持ち寄って店舗内のスペースを活用して朝市を始めた。

朝市が始めたことで、自動車に乗れない高齢農家から出荷の機会や消費者との触れ合いの場を再び与えてもらってうれし。野菜を売るのを楽しみができたとの反響も出ていた。

感謝状は管内外から3

JA愛知東
女性部

Aコープ
跡地活用

ーや酵素ドリンクの販売、ハバリ木作り体験など12店舗が朝市を盛り上げた。

女性部は現在、10月の朝市での販売を目指す。同店の調理設備を活用した縁業作りを計画。5月からは、同店で1月度のサロン開催も検討している。

(愛知東)

(愛知東)

感謝祭

八名朝市はこの4月に一周年を迎えます。
感謝の気持ちを含めて感謝祭を開催します。

2018年4月7日(土) 8~12時

旧Aコープ八名店 新城市黒田萩平37-2

出店者も大募集!

土曜日朝市又は平日JA組合員課まで
0536-33-4135

※しんしろ結いの市さんも
同時開催！

『何でも朝市』

旧Aコープ店舗内に
場所も拡大して開催!

～ イベント内容 (内容変更あり) ～

- ・地元野菜・果物
- ・餅
- ・菓子(シフォンケーキなど)
- ・手づくり雑貨(カゴなど)
- ・花苗

- ・食べ物ブース
- ・ハチマコロッケ
 - ・アメリカンドック
 - ・揚げたて焼
 - ・五平餅
 - ・みたらし団子
 - ・タコス
- わにがし
- 

= JA女性部やな =

1周年感謝祭

想像以上の反響でした



出店者37組
来店者は
約350名!



旧店舗は「JAプラザ」と呼ばれるようになり、
八名地域の拠点(多目的施設)として
活用されていきます



八名地域協議会の拠点
2021年3月まで
毎週水・金曜日)



「やな寄らまいかん」サロン
2021年7月より
「まるまるサロン」

厨房が使えたらなあ！



- 厨房はあるものの当時は使えない状態（店内の壁や厨房はカビだらけ）
- 厨房が使えたら地域の食材を使った美味しい惣菜や弁当が作れるのに…

⇒またまた、JAに相談

厨房が使えるようになり、活動の幅が広がる
地産地消や食育が出来るようになりました
(2019年4月～)



2周年 感謝祭



風船で賑やか

楽しくお話し



飲食店のよう

